

平成27年7月13日の大分県南部の地震における現地調査について

平成27年7月13日02時52分頃に大分県南部で発生した地震について、大分地方気象台は本日（7月13日）、震度5強を観測した佐伯市等に「気象庁機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、震度観測点の観測環境及び地震動による被害状況について、現地調査を実施しました。調査結果は以下のとおりです。

1 震度観測点の観測環境の点検結果

震度5強を観測した震度観測点「佐伯市鶴見^{*1}」の観測環境の点検を行いました。震度計台に傾きやひび割れ等の異常は認められませんでした。また、周囲の地盤等にも異常は認められませんでした。

2 地震動による被害状況

震度5強を観測した震度観測点「佐伯市鶴見^{*1}」及び震度5弱を観測した震度観測点「豊後大野市清川町^{*1}」の周辺で被害状況を調査しました。その結果、この範囲内では顕著な被害は確認できませんでした。なお、震度観測点周辺での聞き取り調査では、「棚から物が落下した」「行動に支障を感じた」などの回答がありました。

（*1・・・は地方公共団体（大分県）の震度観測点）

3 調査実施地域



図1 調査実施地域（調査を実施した震度観測点）
国土地理院の地図を使用